

第64回昭島市新春駅伝競走大会

昭島市の新春を飾る駅伝競走大会が1月13日に行われ、中学生男子の部に33チーム、女子の部に28チームが参加しました。晴天にも恵まれ、沿道の皆さんの温かい声援を受けながら約13キロメートルを6人で継走しました。

今年の優勝団体は、中学生男子の部では「清泉中陸上競技部A」が、女子の部では「拝島中 バスケットボール部」でした。



中学生の部大会結果

☆中学生男子の部☆

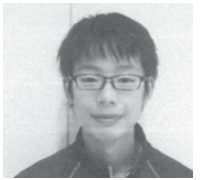
	チーム名	タイム
優勝	清泉中陸上競技部A	48:12
2位	多摩辺中陸上競技部A	48:16
3位	福中サッカー部A	51:14
4位	福島男子バスケットボール部	51:20
5位	昭和男バスBANBANBAN	51:30
6位	やっとゆかいな仲間達	51:56

☆中学生女子の部☆

	チーム名	タイム
優勝	拝島中女子バスケットボール部	56:23
2位	福島女子バスケットボール部A	56:35
3位	瑞雲中陸上部女子A	58:08
4位	昭和ロールパンナ	58:25
5位	昭和メロンパンナ	1:00:22
6位	瑞雲中バドミントン部女子A	1:00:26

協力と努力

昭和中学校二年
守屋 陽



僕は、「昭島市新春駅伝競走大会」に二年連続出場した。

一年生のころは順位も何も考えずに走り、入賞はできなかった。

しかし、二年生になってからは色々なことへの順位を気にしはじめた。例えば、テストとかはどうだろうか。例えば、周りの人と順位争いが自分の中で行われていた。「あの人には勝つたがあの人には負けた」などの複雑な気持ちで心がいっぱいだった。

ある日、昨年の先輩達のタイムを目にした。心に火が着いた。

次の日からは、駅伝の話が少し少しく伝のことを気にかけていた。

だから僕は、その日から少しでも多く体力をつけようと走った。しかし、実際ついたかどうかはわからなかった。

そうしているうちに駅伝のことで部活が力を入れ始め、練習している中で十二月に入ったところ部活でチームが発表された。二年連続一区を走ることが決まった。毎日何もせず過ごしているとあつという間に、当日になった。

当日、一区のスタート地点に立っていると去年より緊張がすごかった。そう思っているうちにスタートの合図が鳴った。走っている間は呼吸困難と順位の戦いだった。だけど、負けるのが嫌だったためか、心の中では順位を気にする気持ちが大きかったが、頭では何も考えていなかった。

走り終わると先生から「帰ってきたのは十番目だよ」と言われた。

個人的には、一ヶ台で戻ってこれなかったことに後悔する。そう思っている大会本部から入賞のお知らせが入り、チームは五位入賞になった。

入賞という念願の目標を達成し、先輩達とのタイムを比較すると一分速かったことがうれしかった。

この駅伝を通じて学んだことは、仲間との協力、そして地道な努力が身を結ぶということだ。

初めての駅伝

福島中学校一年
香月 奈々子



私が今回の駅伝で心に残ったのは、初めての出場だったけど、区間賞がとれたことです。

私は、練習の時、三位以内に入るとメダルが欲しいと思いました。ですが、苦手の短距離などの練習もやって、つらいと思ったこともありましたが、メダルのためにがんばりました。そして、私は五区をまかされました。

本番は、一区の子がスタートしてから、時間があつたけど、短く感じました。そして、自分が走る番が来ました。ラインに並んだ時はとても緊張しましたが、走ってみれば、緊張はだんだんとほぐれていき、仲間や親が声援をおくってくれ、とても楽しく走りきれました。私は、五区を走っている間に、二人を抜くことができました。

そして、ゴールをして、結果を聞いたら、二位で少しびっくりしました。でも、メダルがもらえたのでよかったです。

後日、個人記録が発表され、自分の結果をみたら、区間賞がとれていました。それを見た時は、チームが二位だった時よりびっくりしました。でも、とてもうれしかったです。

私はこの駅伝で「努力すればむくわれる」ということがわかりました。今回はチームで二位だったので、来年は一位をとれるようにがんばります。あと、区間新記録を更新してみたいので、それに向けてがんばります。

新春駅伝について

福島中学校二年
野中 湊太



僕たちサッカー部は第六十四回新春駅伝競走大会中学生男子の部で三位という成績を収めました。僕たちは駅伝の為に努力した事が三つあります。

一つ目は、タイムです。駅伝で勝負するには速く走るしか勝てる道はありません。なので僕たちは安芸コーチのもとでインターバルトレーニングや、坂道ダッシュなどのメニューをやっていました。最初のうちは辛かったですが、その練習もだんだんと普通にこなせるようになってきました。タイム測定の時もみんな好タイムを出せるようになってきました。

二つ目は、どう陸上部と競って行くかです。普通だったら僕たちサッカー部が陸上部に勝てるわけがありません。なので僕たちは安芸コーチの練習で精神を鍛えてきました。「女子には負けれない」などの思いが精神面を鍛えたと感じますし、何よりサッカー部は初タイトルが欲しいので、勝つしかありませんでした。

三つ目は、チームワークです。駅伝は一人一人が力を合わせて戦わないといけません。でも僕たちはその力はもう付いていると思いました。それはサッカーの試合の時や、サッカーの練習時にみんな声を出して頑張っているのがチームワークという面では、どのチームよりも頭一つ抜けていると思います。

このように、サッカー部で練習し駅伝大会三位という初タイトルを手に入れました。これは自分達の力だけじゃ出来なかったことだと思います。先生、朝早くから準備してくださった関係の皆さん、何より「走る」という事を教えてくださった安芸コーチのおかげだと思います。この思いを胸に、これからの数々の困難を乗り越えていきたいと思っています。

